

＜教員免許状取得方法＞

B表	+	C表①	+	C表②	=	59単位以上	ただし各表の必修、選択必修は 全て修得すること	+	A表(全て修得) + 卒業
教職		教科		指導法		免許教科毎に59単位以上となるように計算して修得			＜免許取得要件＞

A

66条の6に定める科目

2023(R05)年度以降入学生適用

法令区分	授業科目	単位	科目区分	開講年次	成績
日本国憲法※1	憲法(人権・基礎)	4	専門	1	
	憲法(統治・基礎)				
体育	体育実習	2	総合	1	
外国語コミュニケーション	英語1～4より2単位以上	2	外国語	1-2	
数理、データ活用 及び人工知能に関 する科目 又は 情 報機器の操作※2	数理、データ活用及び 人工知能に関する科目 情報機器の操作	2	総合	1-2	
	AIとサイエンス コンピュータリテラシー、コンピュータシステム、情 報科学				

※1 C表と同一科目のため重複履修不要。

※2 「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」又は「情報機器の操作」より2単位以上選択必修

B

教育の基礎的理解  
に関する科目等

2023(R05)年度以降入学生適用

記号の説明

必…教育実習参加条件科目(かつ教免必修 ※p.21参照)  
実習前年度までに修得していない場合は実習に行けません。※詳細はp.15参照

科目区分説明

総合…学部のカンゴ教育科目 専門…学部の専門科目  
教・資…教免・資格のための科目(卒業所要単位にならない科目)

複数の免許を取る場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	教科及び教職 に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	学 部		中1	高1	学 部		修得状況	
			授 業 科 目	単位	社会	公民	科目 区分	開講 年次	修得 年次	成績
第二欄	教科及び教科 の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	※1. 次頁[C:教科及び教科の指導法に関する科目]欄を参照。	—	—	—	—	—	—	—
第三欄	教育の基礎的 理解に関する 科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎論	2	必	必	教・資	1		
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校 運営への対応を含む。)	教職論	2	必	必	教・資	2		
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校 と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行財政	2	必	必	教・資	3-4		
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	必	必	教・資	2		
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対す る理解	特別支援教育概論	2	必	必	教・資	3		
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マ ネジメントを含む。)	教育課程論	2	必	必	教・資	3		
第四欄	道徳、総合的な 学習の時間等 の指導法及び 生徒指導、教育 相談等に関する 科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践	2	必	選	教・資	1		
		総合的な学習(探究)の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2	必	必	教・資	3		
		特別活動の指導法	特別活動の理論と実践	2	必	必	教・資	1		
		教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術の活用を含む) ※2	2	必	必	教・資	2-3		
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	※2. 左記事項は「教育方法論(情報通信技術 の活用を含む)」に含む。	—	—	—	—	—	—	—
		生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論 ※3	2	必	必	教・資	2		
第五欄	教育実践に関 する科目	教育実習 ※4. 中高向免許校種の受講登録者は「教育実習Ⅱ」(4単 位)を履修修得すること。	教育実習Ⅰ(事前指導)	1	必	必	教・資	3		
		教職実践演習	教育実習Ⅱ(事後指導を含む) ※4	4	必	選必	教・資	4		
			教育実習Ⅲ(事後指導を含む) ※4	2		選必	教・資	4		
			教職実践演習(中・高) ※5	2	必	必	教・資	4		
			学校経営と学校図書館 ※6	2	選	選	教・資	2-3		
			学校図書館メディアの構成 ※6	2	選	選	教・資	2-3		
第六欄	大学が独自に設定する科目 ※6 学校図書館司書教諭科目:受講登録者のみ履修可。 「学校図書館司書教諭」取得希望者は、5科目全て必修。		学習指導と学校図書館 ※6	2	選	選	教・資	2-3		
			読書と豊かな人間性 ※6	2	選	選	教・資	2-3		
			情報メディアの活用 ※6	2	選	選	教・資	2-3		

※5.教育実習の単位を修得できない場合、単位は付与されない。

必・選必の合計単位数

31

27

中1 社会		高1 公民		中学校一種 社会、 高等学校一種 公民									
法令科目区分				教 職				学 部		修得状況			
				授 業 科 目	単位	中1 社会	高1 公民	科目 区分	開講 年次	修得 年次	成績		
				○印は一般的包括的な内容を含む科目									
①教科に関する専門的事項	中学校一種 社会	日本史・外国史		○ 国史概説	4	必		教・資	2				
				○ 外国史概説	4	必		教・資	2				
		地理学（地誌を含む。）		○ 人文地理概説	2	必		教・資	2				
				○ 自然地理概説	2	必		教・資	3				
				○ 地誌学	2	必		教・資	3				
	高等学校一種 公民	「法学、政治学」	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	○ 憲法（人権・基礎）	2	必	必	専 門	1				
				○ 憲法（統治・基礎）	2	必	必	専 門	1				
				○ 民法A	2	必	必	専 門	1				
				○ 民法B	2	必	必	専 門	1				
				○ 刑法A	2	必	必	専 門	1				
				○ 刑法B	2	必	必	専 門	1				
				民法総則（基礎）	2	選	選	専 門	2				
				民法総則（応用）	2	選	選	専 門	2				
				親族法・相続法（基礎）	2	選	選	専 門	2				
				親族法・相続法（応用）	2	選	選	専 門	2-3				
				物権法（基礎）	2	選	選	専 門	2-3				
				物権法（応用）	2	選	選	専 門	2-3				
				担保物権法（基礎）	2	選	選	専 門	2-3				
				担保物権法（応用）	2	選	選	専 門	2-3				
				刑法総論（基礎）	2	選	選	専 門	2				
				刑法総論（応用）	2	選	選	専 門	2				
				債権総論（基礎）	2	選	選	専 門	2-3				
				債権総論（応用）	2	選	選	専 門	2-3				
				債権各論（基礎）	2	選	選	専 門	2-3				
				債権各論（応用）	2	選	選	専 門	3				
				刑法各論（基礎）	2	選	選	専 門	2-3				
				刑法各論（応用）	2	選	選	専 門	2-3				
				○ 国際公法	2	選	必	専 門	3				
				民事訴訟法（基礎）	2	選	選	専 門	2-3				
				民事訴訟法（応用）	2	選	選	専 門	3				
				刑事訴訟法（基礎）	2	選	選	専 門	2-3				
				刑事訴訟法（応用）	2	選	選	専 門	2-3				
				会社法（企業統治法）	2	選	選	専 門	2-3				
				会社法（企業金融法）	2	選	選	専 門	2-3				
				行政作用法（基礎）	2	選	選	専 門	2-3				
				行政作用法（応用）	2	選	選	専 門	2-3				
				労働法（基礎）	2	選	選	専 門	3				
				労働法（応用）	2	選	選	専 門	3				
				政治学原論（基礎）	2	選	選	専 門	2-4				
				政治学原論（応用）	2	選	選	専 門	2-4				
	「社会学、経済学」	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	○ 社会学概論	2	必	必	教・資	3					
			○ 経済学原論（基礎）	2	必	必	専 門	2-4					
			経済学原論（応用）	2	選	選	専 門	2-4					
	「哲学、倫理学、宗教学」	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	○ 哲学概論	4	選必	選必	教・資	3					
			○ 倫理学概論	4	選必	選必	教・資	3					
教科に関する専門的事項 20単位以上修得				①必・選必 の合計単位数			34	22					
②各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）				社会科・地歴科教育論	2	必		教・資	2				
				社会科・公民科教育論	2	必	必	教・資	2				
				社会科指導法Ⅰ	2	必		教・資	3				
				社会科指導法Ⅱ	2	必		教・資	3				
				公民科指導法	2		必	教・資	3				
各教科の指導法 中1種免 8単位以上修得 高1種免 4単位以上修得				②各教科の指導法の合計単位数			8	4					